



## 柏市の在宅医療

過去

現在

未来

2025年には、<sup>だん かい</sup>団塊の世代がすべて75歳以上の後期高齢者となり、高齢化と少子化の進行により、医療や介護が十分に受けられなくなるのではないかと懸念されてきました。これが「2025年問題」です。こうした状況を見据え、柏市では2010年から、全国に先駆けて「柏プロジェクト」を開始しました。今号では、在宅医療に関する柏市ならではの取り組みを紹介します！

2010年

おばあちゃんが病院に行けなくなったら  
どうしよう…

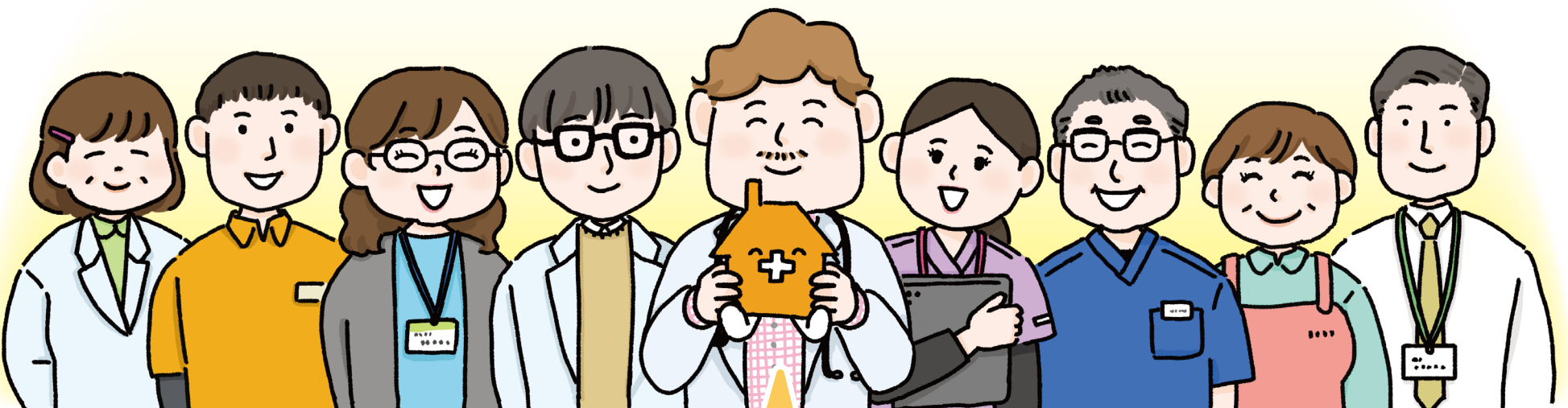
なるべく住み慣れた  
場所で最期まで  
過ごしたいけど  
難しいのかな…

私が将来一人に  
なってもお家で  
療養できるか  
心配だわ

そして 2025 年…

安心して  
ください！

たくさんの方がチームになって  
柏市の医療・介護を支えています



キーワードは  
<sup>た しよく しゅ れん けい</sup>  
『多職種連携』だよ！

どんな人たちが  
どんな取り組みを  
しているのかな  
裏面を見よう！

柏市の取り組みの特徴は『多職種連携』。医療・介護の多職種が“ひとつのチーム”として連携する体制のことで、様々な職種の方が協力しあうことで、医療・介護を受ける方をスムーズにサポートでき、2010年に言われていたような不安や問題の解決にもつながっています。



# こんな人たちが在宅医療を支えています！

表面でご紹介したように、在宅医療を利用する方には様々な専門職が関わり、病気の治療や療養生活のサポートなどを行っています。



**医師**  
定期訪問でからだの状態を診察・治療します。



**薬剤師**  
処方された薬を届け、服用方法や効果の確認をします。



**歯科医師・歯科衛生士**  
歯の治療やお口のケアを行い、しっかり食べられるよう支援します。



**訪問看護師**  
医師の指示のもと、治療や療養の支援を行います。



**リハビリ職**  
移動や食事など、生活に必要な動作のための様々なリハビリを行います。



**管理栄養士**  
医師の指示のもと、栄養管理や食事の助言を行い、食べる楽しみをお手伝いします。



**ヘルパー**  
食事や排泄、入浴の介助などを行い、療養生活を支えます。



**ケアマネジャー**  
介護保険サービスの計画を立て、各支援者との連絡調整をします。

この他にもたくさんの専門職が療養生活をサポートしているよ



## 顔が見えるって安心

## 顔が見える関係会議



『多職種連携』を進める取り組みの一つとして、柏市では「顔が見える関係会議」を行っています。医療・介護に関わる多職種が集まり、より良いチームケアを目指すため、お互いを知り理解を深めることを目的としています。

**職種を越えて“顔が見える関係”を築くこと**で、専門職はより広い視野で課題の解決について考えることができ、患者さんやご家族が安心して「わがや」で療養できるよう話し合っています。

### 柏の在宅医療を支える医師として

在宅医療・介護を受ける患者さんにとって、かかわる多職種がつながりをもっていることは安心感を与えます。柏市で2025年問題への対策として開始した在宅医療・介護を推進するための柏プロジェクト（柏モデル）のスタートから15年、ほかの自治体に先んじて培ってきた医療・介護連携のカギとして「**顔が見える関係会議**」は多職種間をつなぐ重要な役割を果たしています。患者さんのためにも、これから新たに在宅医療や介護に関わる事業者の方々には、ぜひ会議に参加してほしいですね。

柏市医師会 石橋正樹さん



### 柏の在宅医療を推進する拠点

### 柏地域医療連携センター

在宅医療を含む地域医療・介護を推進する拠点として整備された施設です。  
医療・介護の専門職への支援や多職種連携の推進に加え、在宅医療に関する疑問やお困りごとの相談も受け付けています。どうぞお気軽にご相談ください。

#### 問合せ先

住所：柏市豊四季台 1-1-118  
電話：04-7197-1510  
（柏市地域医療推進課に同じ）



### 全国初の取り組み！ 「柏プロジェクト」とは？

平成22年（2010年）、豊四季台地域をモデルに医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指して「柏プロジェクト」を開始しました。  
住まいに着目し、在宅医療と介護を連携させたこの取り組みは「**全国初の試み**」として注目を集め、現在も国内外から多くの視察が訪れています。  
現在は、柏市医師会・東京大学・柏市の三者で協定を結び、柏の在宅医療をより良くするために、話し合いを重ねています。

## これからも柏の暮らしが安心であるように…

2040年には高齢者人口がピークを迎えると言われていて、在宅医療や介護の需要が増えると、医療・介護に関わる担い手が不足する可能性が高くなります。そのような状況においても、高齢者だけではなく、より高度で専門的な知識が求められる障害者や医療的ケアを必要とする子どもが、この先も充実した在宅医療を受けられるよう、新たなモデルの検討も進めています。

皆さんが住み慣れた「わがや」で安心して暮らせるための「連携体制の深化」にぜひご注目ください。

これからも住み慣れた“わがや”での暮らしを大切に守っていくよ



### 柏に住んでいてよかった！



### information

## わがやクイズ！



#### 【問題】

〇に入る漢字  
1文字は？

#### “〇の見える関係会議”

#### ヒント

『多職種連携』を進める取り組みの一つ

#### クイズの応募方法

右のQRコードから、①～⑨の項目を回答し、ご応募ください。

【締切】令和8年4月30日（木）



- ① クイズの答え
- ②～⑤ 在宅医療に関するアンケート
- ⑥ 「わがや」の入手先
- ⑦ 「わがや」で取り上げて欲しいテーマ
- ⑧ 「わがや」の感想
- ⑨ 氏名・住所・年齢

クイズに答えて  
抽選で10名様に

図書カード  
500円分  
プレゼント！

\* 当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。